

2022年度 関東学生水球リーグ戦水球 【戦評】

会場：日本体育大学

【2022/5/14】

この試合のプレー集計

1部																	
早稲田大学	13	<table border="1"> <tr><td>2</td><td>—</td><td>4</td></tr> <tr><td>2</td><td>—</td><td>3</td></tr> <tr><td>2</td><td>—</td><td>5</td></tr> <tr><td>7</td><td>—</td><td>6</td></tr> </table>	2	—	4	2	—	3	2	—	5	7	—	6	18	専修大学	
2	—	4															
2	—	3															
2	—	5															
7	—	6															
	審判:	PSO															
		潮崎 正一															
		黒崎 千智															

早稲田大学	33	SH数	35	専修大学
	4	速攻数	2	
	9	ST・SB	21	
	7	SH・P誘発アシスト	9	
	18%	GK阻止率	38%	
	13	EX反則数	12	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

1P

専修大センター⑫浦のシュートを早大⑦曳地がブロックしてチャンスをつかんだ早大が⑩古谷のシュートで先制。しかしその後は専修大がセンター⑫浦を中心にプレッシャーをかけて、早大側攻撃起点の⑫中村のミス突いて②小見が連続得点するなど、専修大ペースで第1ピリオドを終えた。専修大は2枚センターを交互に入れ替えて、早大側に圧力をかけて試合の主導権を握った形。

2P

このピリオドも専修大ペース。②小見が退水を奪って起点を作り、さらに自身で6mシュートを決めるなどしてこのピリオド序盤で専大6-2早大と点差を開いた。この後は、ゴール前の専大DFにやや隙が生まれて、そこを早大が次々に退水を奪って2点を返したが、退水SHを専大GK①三谷にセーブされて専大の逆襲に。⑫浦が退水を奪って⑩渡邊が決めて前半を早大4-7専大で前半を折り返した。このピリオド、早大には退水シュートチャンスが多くあったが、そこを専大GK①三谷が好セーブを連発。これがこの試合で大きなポイントとなった。

3P

優位に立った専大は、このピリオドも②小見が縦横無尽に動いて序盤に連続得点。逆に早大は受け身に回ってしまって、このピリオドだけで6本の退水を奪われてしまい、点差をさらに広げられてしまった。

4P

前のピリオドでペナルティを失敗した早大エース⑫中村が反撃。序盤で早大が3点を一気に返して追撃態勢。しかしその流れを専大センター⑫浦が断ち切るシュートを決め、専大優位を決定づけた。最後は両チーム、ノーガードの打ち合いで点の取り合いになり、最終的には早大13-18専大で専大がリーグ戦初戦をものにした。

両チーム合わせて6名の永退者を出すなど大荒れのゲームとなったが、ボール接点で早大側は劣勢に回ってしまった。早大の攻撃の軸⑪都田・⑫中村に対して、専大は②小見③岡本を軸にしてボール接点で早大を上回り、⑫浦⑦久保のサウスポー2枚センターが威力を発揮しての完勝。日体大と並んでリーグ戦の主役になる気配を感じる試合展開であった。